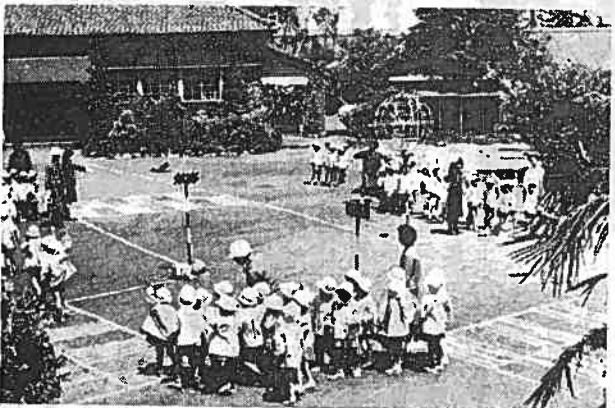


世帯と人口

(41. 5. 1日 現在)	
面積	30.55平方町
人口総数	55,285人
男	28,361人
女	26,924人
世帯数	12,220世帯
転入	467人
転出	428人
出生	78人
死亡	27人
婚姻	77
離婚	1
死産	11

全世帯に配布

この広報紙は町内自治会を通じ市内の全世帯にもれなく配布されております。皆さんのお宅に届かないときは部落の区長または市広報係までお申し出ください。



(写真・自転車の正しい乗り方の励行
(上)と歩行者の正しい横断の励行を実地で
勉強する良い子たちの交通教室)

市交通安全対策委員会は富士警察署、交通安全協会、富士地区支部の共同主催により去る五月十一日から二十

日まで多彩な行事を繰り出して、春の交通安全運動、をくりひろげました。お蔭様で市内関係の各種

団体の力強い協力をいただき、予期以上の成果をあげることができました。ことに、対し厚くお礼申し上げます。

6月市交通安全対策スローガン

スリップに注意しよう

商業統計調査は、昭和二十七年から二年ごとに始められ、八回目を迎えますが、市内の卸、小売業(飲食店を含む)について重ねてなおくわしく調べます。(前回は千七十三商店)

来る七月一日現在をもって事業所統計調査ならびに商業統計調査が同時調査で実施されます。事業所統計調査は、昭和二十二年から三年ごとに行なわれ、これまで八回目を迎えますが、この調査は、市内の事務所、工場、会社、商店、旅館、映画館を始め、駅、学校、病院、神社にいたるまであらゆる種類の事業所をもれなく調査することになっております。前回の三十八年は、市内の事業所数は二千七百七十八でした。

ご協力ください

7月1日は

事業所統計調査 商業統計調査

でも販売計画、事業拡張計画などに広く利用されます。なお、これらの統計調査で申告された内容は、統計の目的以外に使用することは法律で固く禁じられておりますから、ありのままをお知らせください。

また、この調査結果は経済政策、地域開発計画など市町村行政に欠くことのできない基本的な資料として使われ、また民間

中小企業者に

事業資金 50万円を貸付

- 市では三十九年度から市内の中小企業者の育成施策の一環として「小口資金協同融資制度」を実施してまいります。銀行その他一般の金融機関との取引が薄く、通常の融資が困難な小規模事業者の融資の円滑化をはかるため、県および金融機関、商工会議所等の協力により実施しているもので、四十一年度は更に貸付の枠を八百万円増額し二千四百万円をつぎの要領で貸付することになりました。
- ◆借入申込み資格者 通常使用する従業員が三十人以下の法人または個人であつて、市内に事業所をもっているもの
- ◆貸付のわく 二千四百万円
- ◆貸付の条件 (1)事業資金に限る (2)法人、個人とも五十万円以内
- ◆申込み期間 六月一日から六月十日まで(但し七月以降は毎月十日締切り)
- ◆取扱銀行 富士信用金庫、静岡相互銀行富士支店、中部相互銀行富士支店
- ◆その他 (1)借入申込書には、市納税証明書添付して下さい。

交通事故から

子どもを守ろう

都会はもちろん農村に至るまで、もはや安全地帯がなくなつたといわれるほど交通事故による犠牲者がふえております。

とくに、子どもの交通事故は毎年ふえるばかり。4月には新入学児童の通学も始まりましたが、かわいらしい一年生が交通事故でけがをしたり、命を失つたりするのは、なんとしても防がねばなりません。

ところで、子どもさんを待つお母さんに次のことをよく守り交通事故を一つでもなくしたいものです。

◇口でやかましくゆうより実際に道路に出て、手をあげて一緒に横断歩道を渡つてみたり、曲りかどでは左右を見て出ることを教える
実地教育が最上の方法といえます。

◇事故防止の方法を、子どもの習慣にまでもつていき反復して教えること。

◇信号機のある横断歩道でも事故があり得ることや、踏み切りで警報器が鳴つていても事故があることなど、実際に教えること。

◇幼児を外につれていく場合は必ず子どもは家並み側を歩かせ、幼児の手をしっかりと握り親の方から握つてやること。スカートなどにつかまらせて歩いている母親がいますが事故のもとです。

6月20日現在で選挙権の一斉調査

いままで、基本選挙人名簿は毎年9月15日現在で作つていたがこのたび永久選挙人名簿の制度が採用される予定になりました。

このため6月20日から10日間の予定で市職員が戸別調査に伺います。みなさんのご協力をお願いいたします。